知恵の承継マニュアル

一知財編-

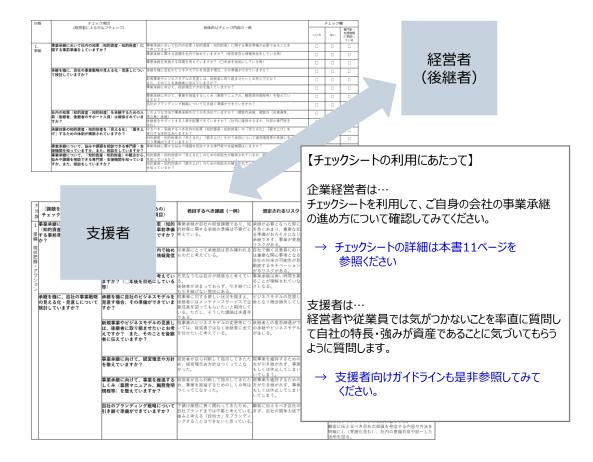
経営者向けガイド



特許庁

ガイドラインの構成について(要約)

事業承継とは?	事業承継とは、会社の価値(会社が続いてきた理由)を引き継ぐこと。 「よいところ」「知恵」を引き継ぎ、高めることが重要です
経営の知恵の承継とは?	事業承継に向けた経営改善(知的資産・知的財産の見える化→磨き 上げ)を通じて、企業資産の価値を高めていく視点が重要であり、具体 的な行動を計画的に実践していくことが重要です
経営の知恵(知的資産・知的財産)の承継に関するトラブル・解決事例	事業承継において知的資産・知的財産の準備が十分ではないために生 じたトラブル事例を紹介します
取り組むにあたっての注意点	知的資産を切り口とした事業承継の検討を行う場合に必要となる注意 事項を紹介します
経営の知恵(知的資産・知 的財産)の承継に関する無 料相談窓口	知的資産・知的財産の承継に関する支援が可能な支援機関を紹介し ます
経営の知恵(知的資産・知 的財産)の見える化シート	経営者ご自身で知的資産・知的財産の承継について検討をいただくためのチェックシートを作成。シートをチェックをするなかで「気づき」を得てもらう一助となることを期待します



目次

要約]		2p
2. 3.	事業承継とは? 経営の知恵の承継とは? 経営の知恵(知的資産・知的財産) 取り組むにあたっての注意点	の承継に関するトラブル・解決事例	3p 5p 6p 7p
5.	経営の知恵(知的資産・知的財産)	の承継に関する無料相談窓口	7p
6.	経営の知恵 (知的資産・知的財産)	の見える化・磨き上げチェックシート	8p

ガイドラインの作成目的

このガイドラインでは、企業経営者が事業承継に取り組むにあたり、**知的資産・知的財産についてどの** ような視点を持って検討していただくことが必要となるのかを理解いただき、気づきを得ていただくた めのチェックシートを提供するものです。

事業承継にあたり、経営者がお一人で考えるのではなく、**外部の専門家や支援機関と一緒に検討し** ていくことが重要と考え、こうした外部支援者とのコミュニケーションを円滑に進めていただくための ツールとして作成しました。

1. 事業承継とは?

事業承継とは、会社の価値(会社が続いてきた理由)を引き継ぐことです。一般的な事業承継の考え方は以下の様に整理することができます。

①経営者

· 経営権

- ・後継者の選定
- ・後継者の教育 など

②財務的財産

- 株式・設備/不動産
- ・資金(負債含む) など

③知恵 (見えざる資産)

- ・経営理念
- ・経営者の信用
- ・ネットワーク(顧客や関係先)
- ・組織力、技術力、ノウハウ、知的財産(権)
- ・しくみ(作業マニュアル、社風・文化) など

これまでの事業で蓄積した「よいところ」「知恵」は見ているか?、説明できるか?

顧客から選んでもらえている「よいところ」があるはず!? 営業、生産、管理(経理)、自社独自の工夫、アイデア、ちょっとした仕掛けといった「知恵」があるはず 後継者に見えているのは「結果」 のみ。それがすべてと判断してし まうことはリスクである これからの事業で活用するべき 「よいところ」「知恵」を引き継 ぎ、高めることが重要

会社の価値 (会社が続いて きた理由) 会社の価値(会社が続いてきた理由)は様々な要素があります(下図参照)。 これらの価値は企業や事業を支える『知恵』と位置づけることができます。 例えば、経営理念のなかには現経営者の考え方や方針なども含まれます。

経営理念	伝統・歴史	社風	文化
経営者の信用			
ネットワーク	仕入先	顧客	海外
人材			
組織力	技術力	営業力	仕入力
ビジネスモデル	開発力	接客力	生産対応力
情報システム	改善活動		
営業秘密	ノウハウ	技能	許可・認可・認証
しくみ	社内マニュアル	規程・ルール	契約
知財戦略	特許権	意匠権	商標権
著作権 等	実用新案権	デザイン	ブランド

会社の知恵 (見えざる 資産)

承継する べき資産

コラム: 事業承継の現場から(支援機関からの提案をきっかけに父子での話し合いを開始)

金属加工を営む中小企業A社では、後継者として経営者の息子を就職させ、事業の習得を指示していた。事業承継について具体的な活動を考え始めたときに支援機関から専門家活用を提案され、知的資産・知的財産の整理に着手し、準備を父子で話し合う時間をつくり着実に取り組んだ。このことで経営者と後継者の共通する考え方、相違する考え方を話し合うことになり、後継者に対するあらたな事業への開拓をまかせつつ経営者は承継に向けた準備を本格化させていくこととなった。

知恵の承継 FAO: 知的資産・知的財産の承継 素朴な疑問

Q:知的資産・知的財産の承継に外部専門家が加わることは有効なの?

A:外部の視点を加えることで会社の価値を漏れなく俯瞰して把握することができます

O 複数の専門家が支援することは有効なの?

A: 事業承継は検討する領域が広いため、複数の専門家が一緒になって支援することでより的確な「見える化」「磨き上げ」ができると考えられます。

Q:どの段階から知財専門家に参加してもらうとよいの?

A: 事業承継について気になった当初から相談することをお勧めします。

2. 事業を支える知恵の承継とは?

事業承継について、従来のように経営や株式の承継や税務相談に対応するのみでは十分ではありません。

事業承継に向けた経営改善(知的資産・知的財産の見える化→磨き上げ)を通じて、企業資産の価値を高めていく視点が重要であり、具体的な行動を計画的に実践していくことが重要となってきます。本書は、知的資産・知的財産を『事業を支える知恵』と定義づけし、企業における事業承継(知恵の承継)の取組の1つの方法について、時系列を意識してご理解いただけることを目的に作成しました。1. 準備→2. 見える化→3. 磨き上げの順に、自社の知的資産・知的財産の承継を考えてみましょう。

本書では、可能な限り必要となる項目を掲載するよう努めていますが、全てを網羅できているわけではありません。疑問や不明点は身近な専門家や支援機関へ相談されることをおすすめいたします。

事業承継に向けたステップ 事業承継に向けた準備の必要性の認識 ステップ2 経営状況・経営課題等の把握(見える化) ステップ3 事業承継に向けた経営改善(磨き上げ) 親族内・従業員承継 社外への引続き ステップ4 事業承継計画策定 マッチング実施 ステップ5 事業承継の実行 M&A等の実行 ポスト事業承継(成長・発展)

知的資産・知的財産を切り口とした事業承継のステップ。(イメージ)

事業承継のステップ 1 ~ 3 と 知的資産・知的財産の 承継の1'~3' を併走

見える化、磨き上げの 結果をステップ4で 事業承継計画へ反映

経営者にご理解いただきたいこと

それぞれのステップで経営者(後継者含む)と支援者が共通認識を持つことが重要です

それぞれのステップで経営者(後継者含む)と支援者十分に議論することが重要です

それぞれのステップで経営者が自ら判断・決定をしておくべきことを明らかにすることが重要です

それぞれのステップで経営者が外部専門家に頼んでおくべきことを明らかにすることが重要です

ステップ4以降においてとる行動をまとめ、スケジュールを決めて計画的に取り組むことが重要です

ステップ4以降において知的財産の磨き上げを実施する場合の方法を検討しておくことが重要です

図:資料「事業承継ガイドライン(中小企業庁)」ステップ図を参照

事業承継において知的資産・知的財産を切り口とした取組を行うことの意義・メリットは以下の様に整理することができます。ここでは企業のみならず、企業を支援する立場の支援者における意義・メリットを整理しています。

取り組むことの意義・メリット(経営者・支援者の声より)

企業にとっての意義・メリット 支援者(専門家、支援機関等)の役割

- 知的資産・知的財産に注目した事業承継を進めるために必要な準備事項を知ることができる
- 事業承継に向けた自社の知的資産・知的財産の有無を整理することができる
- 自社の強みや承継後の磨き上げの方向が理解できる
- 今後の取組事項を整理し優先順を明確 にできる(計画的に取り組むことができ る)
- 知的資産・知的財産の承継を進める際のポイントを企業側と共有し、適切な支援を提案することができる
- 見える化した知的資産・知的財産の価値を一層高める活動について提案することができる

3. 経営の知恵(知的資産・知的財産)の承継に関するトラブル

事業承継において知的資産・知的財産の準備が十分ではないために生じたトラブル事例を紹介します。決して他人事ではないことを理解してください。

×事業承継後に同じ製品がつくれなくなった

例)ベテラン技術者の保有ノウハウの特定・整理ができていないため、その技術者の長期 休養(急な病気により数週間入院)に入るとともにその技能にもとづく加工技術の実施が 不可能となった。

×製品製造に不可欠な特許権を失効させてしまった

- 例) 経営者と後継者のコア技術に対する認識が不一致であったため、知的財産権の維持・ 廃棄の適切な判断ができず、維持が不可欠な特許権の維持活動を失念してしまった。
- ×事業承継前に先代が大企業と共同開発した技術を用いた製品製造を大企業から 依頼されたが先代が不在なため製造ができなかった。
- 例)先代経営者に蓄積された技術情報や開発ノウハウが後継者伝えられず、再現性が確保できていないことが判明した。

4. 取り組むにあたっての注意点

知的資産を切り口とした事業承継の検討を行う場合、以下の点に注意が必要です。 これらを最初から排除するものではありませんが、検討すべきことがあいまいになるため 対象に含めないことをおすすめいたします。

- 経営者がひとりで検討しない(社内の従業員も巻き込むことが有用であったり、外部の支援者による助言を有効活用することが重要です)
- 事業承継は会社内部だけではなく、社外の取引先にも影響が及ぶことを理解する (見えない資産には、経営者独自の人的ネットワークなどもふくまれます)
- 知的財産権の金銭的価値(M&A等での評価)などは検討の対象外としておく (目に見えない知的 財産・知的資産を「見える化」することが重要で、その経済的価値を 把握することは必須ではありません)

5. 経営の知恵(知的資産・知的財産)の承継に関する無料相談窓口

知的資産・知的財産の承継に関する支援が可能な支援機関

INPIT知財総合支援窓口

中堅・中小・ベンチャー企業が抱える経営課題や、アイデア段階から事業展開までの知的資産・知的財産に関する課題や相談を、ワンストップで受け付ける相談窓口知的資産・知的財産の承継について、知財専門家を派遣するなどの支援を行う 【相談無料】

(参考URL) https://chizai-portal.inpit.go.jp/



※一般的な事業承継に関する支援機関

事業引継ぎ支援センター

後継者不在で事業の引継ぎを検討する中小企業・小規模事業者と経営資源を引き継ぐ意欲のある中小企業・小規模事業者に対して事業引継ぎに係る課題解決に向けた助言、情報提供及びマッチング支援を行う【相談無料】(参考URL)https://shoukei.smrj.go.jp/

事業承継ネットワーク事務局

事業承継を実施しようとする際の様々な課題に対応するため、コーディネーターを中心に金融機関や地域支援機関と連携しながら専門家を派遣するなどの支援を行う【相談無料】

(参考URL) https://shoukei.go.jp/soudan





○チェックシート作成の目的

企業経営者が事業承継に取り組むにあたり、知的資産・知的財産についてどのような視点を持って検討していくことが必要となるのか、まず理解することが重要です。

このため、このガイドラインでは、経営者ご自身で知的資産・知的財産の承継について検討をいただくためのチェックシートを作成し、チェックをするなかで「気づき」を得てもらうことに内容を絞り構成しました。

○チェックシートの位置づけ

事業承継に取り組むにあたり、経営者がおひとりで考えるのではなく、外部の専門家や支援機関と一緒に検討していくことが重要と考え、こうした外部支援者とのコミュニケーションを円滑に進めていただくためのツールとして「経営者向け 経営の知恵(知的資産・知的財産)の見える化・磨き上げチェックシート を作成しました。

本チェックシートに掲載している項目は、「支援者向けガイドライン」(別冊子)と連動させています。想定される課題、未対応時のリスク(一例)、事業承継・知財面での対応策(一例)をまとめており、「支援者向けガイドライン」につきましても併せてご参照いただくことをお勧めいたします。

○チェックシートの使い方

事業承継について取り組みをはじめたいとお考えの際や、知的資産・知的財産についてどのような準備が必要なのかわからない場合など、タイミングは問わずご利用になれます。まずチェックシートを読んで、チェックすることから始めてください。今後検討が必要なこと、承継に向けて必要な準備を理解することができます。

なお、このチェックシートは、知的資産・知的財産に関するチェック項目を中心に整理しています。一般的な事業承継にかかるチェック項目は、以下に例示するような参考図書を参照してください。

事業承継に関する参考資料

①経営者向けガイドライン 「中小企業経営者のための事業承継対策」



②事業の未来を描くためのつなぐノート



見える化・磨き上げチェックシート

経営者 (後継者)

分類	チェック項目			チェック	68
	(経営者によるセルフチェック)	具体的なチェック内容の一個	11112	(\$L)	専門家・ 支援機関 に相談し ている
1. 20.66	事業承継において社内の知恵 (知的資産・知的財産) に 関する事前準備をしていますか?	事業承継において社内の知恵 (知的資産・知的財産) に関する事前準備が必要であることを ご存じですか?			
		事業承接に関する話題を社内で始めていますか?(経営者自ら情報発信をしている等)			
		事業承継を実施する時期を考えていますか? (○年後を目処にしている等)			
	承継を機に、自社の事業収略の見える化・見直しについて検討していますか?	承継を機に自社のビジネスモデルを見直す場合、その準備ができていますか?			
	1000	断視事業やビジネスモデルの見直しは、後継者に取り租ませたいとお考えですか? また、そのことを後継者に伝えていますか?			0
		事業承接に向けて、経営理念や方針を築えていますか?			-
		事業承担に向けて、事業を推進するしくみ(業務マニュアル、緻務発明規程等)を整えてい ますか?			
		日社のプランディング戦略について引き組ぐ準備ができていますか?			
	社内の知恵 (知的資産・知的財産) を承継するための人 昌 (参拝者、参拝者のサポート人員) は確保されていま	どのような方法で事業承継を行うかを決めていますか? (親族内承継、親族外 (従業員等、 第三金) 承継)			
	すか?	接継者をサポートする人員を配置できていますか? (社内に確保するほか、外部の専門家を 余む)			
	承継対象の知的資産・知的財産を「見える化」「磨き上 げ」するための体制が機築されていますか?	守るべき・承継するべき社内の知恵 (知的資産・知的財産) の「見える化」「磨き上げ」を 銀行する体制はありますか?		0	0
		知的資産・知的財産の「見える化」「磨き上げ」を行う体制について適宜増具等の見直しを 行う落備ができていますか?			
	事業承継について、悩みや課題を相談できる専門家・支 課機関を知っていますか、また、相談をしていますか?	事業承継に関する福みや課題を相談できる専門家や支援機関はいますか?			-
	事業承額について、「知的資産・知的財産」の観点から、 協みや課額を相談できる専門家・支援機関を知っていま				
	すか、また、相談をしていますか?	の的資産・知的財産の「F 技先が確保されているか、専門家・支援機関 を知っているか?			

連動

支援者

大 分 (課題を検出するための) ガ チェックリスト (大項目)	(課題を検出するための) チェックリスト (中項目)	着日するべき接。	」定されるリスク (一例)	見える化・磨き上げ 支援上のポイント (一例) (文献、ヒアリング結果、調査実証研究より)
選する事前準備をしています 分?	が必要であることをご存じですか?	的財産に関する承報の準備は不、 考えている。	を急ぐあまり、重要な知的財産に関す る準備がおろそかになり、結果うまく 承継できず、事業が実施できなくなる リスクがある。	
現状把握・ア	ていますか? (経営者自ら情報発信 をしている等)	ものだと考えている。	は重要な関心事項となる。 会社の将来の可能性が見えないことは 勧続するモチベーションの低下につな がるリスクがある。	そうすることで従業員の安心につながることを理解する。
クション	ますか?(○年後を目処にしている 等)	る。 級服者が決まっておらず、引き継ぐに も引き継げない現状にある。	ることが理解されていないことがリス クとなる。	大凡の目站 (年次) をあらかじめ想定する。 創業●周年といった節目となる年次を目標とする。
承継を機に、自社の事業戦略 の見える化・見直しについて 検討していますか?	見直す場合、その準備ができていま すか?	級組者にはメンテナンスサービスで企 業成長を図ってもらいたいと期待して いる。ただし、そうした議論は未善手 である。	後となり機会損失してしまう。	ビジネスモデルを転換するための議論を行う。 外部専門家を活用するなどビジネスモデルの磨き上げ を意識した取組とする。
	は、後継者に取り組ませたいとお考 えですか? また、そのことを後継 者に伝えていますか?	いては、経営者ではなく後継者に全て を任せたいと考えている。	の承継やビジネスモデルの転換に遅延 が生じる。	ビジネスモデルを見直す場合、承報までに球球営者が 実践するのか、準備に番手するのかを明確にする。 現経営者の「疑常はなれ」を意識し、承端までに後継 者に選手をきせるのかを明確にし、後継者に明確な原 形を選を行う。 外部専門家を活用するなど社内の知恵を活用したビジ ネスモデルの契約に番手する。
	を整えていますか?	め、経営理念あ方針はつくってこな かった。	方が引き扱がれず、事業の実施が遅延 もしくは休止してしまい、円滑さを欠 いてしまう。	
	しくみ(業務マニュアル、職務発明 規程等)を整えていますか?	め、事業を推進するためのしくみ等は つくってこなかった。	方が引き組がれず、事業の実施が遅延 もしくは休止してしまい、円滑さを欠 いてしまう。	マニュアルや規程類がない場合は、よい機会として新 親に作成することを強く認識する。
	別き継ぐ準備ができていますか?	下請け業券に長く関わってきたため、 自社/フランドまでは不要と考えている 組みと考える「技術力」をプランディ ングすることはできないと思っている	きず、自社の競争力低下につながる。	類状のブランド総稿を確認して、新たなブランディン グを手継を機に検討する。 当初より、外部専門家を活用するなど外部の知恵を活 同したプランディングの検討に基手する。 解客に四えるそ自社の価値を完定する内容や方法を 明確に日よると自社の価値を発信する内容や方法を 明確に日よります。

【シートのチェックにあたって】

- 経営者ご自身が、チェック項目(経営者によるセルフチェック)を確認いただき、「いいえ」、「はい」をチェックして、自社の現状を確認してみてください。また、チェックシートを利用して、ご自身の会社の事業承継の進め方について考えてみてください。
- 1. 準備→2. 見える化→3. 磨き上げの順に、自社の知的資産・知的財産の承継について考えてください。最初から3. 磨き上げの項目からチェックすることは想定していません。
- 経営者のみでチェックせずに、社内の方と一緒にチェックをしてもらうと漏れが抑えられます。
- 日頃からつきあいのある外部の支援機関や専門家と一緒にチェックすると、経営者には気がつかないことを確認できる場合があります。
- 気になる項目があれば、支援機関や専門家に相談してみましょう! 今すぐ行動をとること が大切です!

【チェックにあたって】

201

- ・ 1、準備→2、見える化→3、磨き上げの順に、自社の知的資産・知的財産の承継について考えでみましょう 産の承継について考えでみましょう 経営者のみでチェックセずに、社内の方と一緒にチェックをしてもらうと編れが抑えら れま。日頃からつきあいのある外部の支援機関や専門家と一緒にチェックすると、 経営者には気がつかないことを確認できる場合があります

	!			チェック欄		
分類	チェック項目 (経営者によるセルフチェック)	具体的なチェック内容の一例	いいえ	(14)	専門家・ 支援機関に 相談している	
		①事業承継において社内の知恵(知的資産・知的財産)に関する事前準備が必要であることをご存じです か?				
	事業承継において社内の知恵(知的資産・知的財産) I-開オス電前維備をLアハキオかっ	②事業承継に関する話題を社内で始めていますか?(経営者自ら情報発信をしている等)				
	に対する手間卒間でしている。	③事業承継を実施する時期を考えていますか?(○年後を目処にしている等)				
		①承継を機に自社のビジネスモデルを見直す場合、その準備ができていますか?				
	1 - 2	②新規事業やビジネスモデルの見直す者(現経営者・後継者)や、見直し方法について、現経営者・後継者・ 従業員の間で十分な意識統一ができていますか。				
	承継を機に、自社の事業戦略の見える化・見直しについて カーゴ・ニ・・・・	③事業承継に向けて、経営理念や方針を整えていますか?また、必要に応じて見直しをしていますか?				
	機能していまりか ?	④事業承継に向けて、事業を推進するしくみ(業務マニュアル、職務発明規程等)を整えていますか?また、定期的に更新をしていますか?				
		⑤自社製品のデザイン・ブランディング戦略について引き継ぐ準備ができていますか?				
準備	1-3 社内の知恵 (知的資産・知的財産) を承継するための	①どのような方法で事業承継を行うかを決めていますか? (親族内承継、親族外 (従業員等、第三者) 承継(
	人員(後継者、後継者のサポート人員)は確保されて いますか?	②後継者をサポートする人員を配置できていますか?(社内に確保するほか、外部の専門家を含む)				
	1-4 2004+46 44 44 44 44 44 14 14 14 14 14 14 14 14	① 守るべき・承継するべき社内の知恵 (知的資産・知的財産)の「見える化」「磨き上げ」を実行する体制はありますか?				
	Aftexソまじれば見無・知じ別年でした人もに11 店と上り」 するための体制が構築されていますか?	②知的資産・知的財産の「見える化」「磨き上げ」を行う体制について適宜増員等の見直しを行う準備ができて いますか?				
	1 – 5 事業承継について、悩みや課題を相談できる専門家・支援 機関を知っていますか?また、相談をしていますか?	①事業承継に関する悩みや課題を相談できる専門家や支援機関はいますか?また、相談をしていますか?				
	1 - 6 事業承継について、「知的資産・知的財産」の観点から、 悩みや課題を相談できる専門家・支援機関を知っていま すか、また、相談をしていますか?	①知的資産・知的財産の「見える化」「磨き上げ」のための相談先が確保されていますか、 専門家・支援機関を 知っていますか ?				
			•			

[×E]

[チェック欄 の 使い方]

1. 準備 のチェック項目で、「いいえ」を選択した項目について、支援機関や 専門家に相談してみましょう! 気になる項目があれば、今すぐ行動を!

202

1. 準備→2. 見える化→3. 磨き上げの順に、自社の知的資産・知的財産の承継について考えてみましょう
 経営者のみでチェックサイン、社内の方と一緒にチェックをしてもうと漏れが抑えられます。目頃からきあいのある外側の支援機関や専門家と一緒ごチェックすると、経営者には気がつかないことを確認できる場合があります

	- 17年日			チェック欄	
分類	アエッン以口 (経営者によるセルフチェック)	具体的なチェック内容の一例	いいえ	נשני)	専門家・ 支援機関に 相談している
		①承継対象となり得る社内の知恵(知的資産・知的財産)の種類として、どのようなものがあるか説明できますか?(経営理念、社風、社内文化、経営者ご自身の評判・ネットワーク、仕入先、ノウバウ・技能・技術・ブランド・デザイン等)			
		②事業承継時に経営者が社内の知恵(知的資産・知的財産)を明らか(見える化)にすることの重要性を 理解できていますか?			
		③自社の経営理念、社風、社内文化、経営者ご自身の評判・ネットワークを説明できますか?			
	2- 1 白 차 の経営 トの暗みやよいどころを車付ける	④守るべき・承継するべき取引先(仕入先)は特定できていますか?			
	社员公司。 社内公司。 (1) 《 1) 《 1) 《 1) 《 1) 《 1) 《 1) 《 1) 《	⑤守るべき・承継するべきノウハウ (手順や方法の知識) は特定できていますか?			
2.	ייש (מיש) רכריוס אין:	⑥守るべき・承継するべき技能(能力、行為等の形式知化が困難なもの)を特定できていますか?(例:加工に関する技能)			
見える化		⑦守るべき・承継するべき技術(記録可能なやり方、方法、手段)は特定できていますか?			
		⑧自社の強みとなるデザイン・コンセプトを特定(把握)していますか?			
		⑨自社のブランディングに関する社内の知恵(知的資産・知的財産)を特定できていますか?			
	2 – 2	①自社の強みとして特定された守るべき・承継するべき知恵(経営理念、社風、社内文化、経営者ご自身の評判・ネットワーク、ノウハウ・技能・技術・ブランド・デザイン等の知的資産・知的財産)が、社内のどこ (だれ) にあるのかを整理 (管理) できていますか?			
	社内で特定された知恵(知的資産・知的財産)を 適切に整理(管理)できていますか?	②守るべき・承継するべき社内の知恵(知的資産・知的財産)を言語化する・データベース化する等、引き継げ る状況になっていますか?			
		③守るべき・承継するべき社内の知恵(知的資産・知的財産)を蓄積・整理するルールはありますか?			
			(

[≯£]

[チェック欄 の 使い方]

2. 見える化 のチェック項目で、「いいえ」を選択した項目について、 外部専門家や支援機関を交えて整理することが有効です。 6ページの無料相談窓口を活用することも1つの方法です。

203

- 1. 準備→2. 見える化→3. 磨き上げの順に、自社の知的資産・知的財産の承継について考えでみましょう
 経営者のみでチェックセダに、社内の方と一緒にチェックをしてもうと漏れが抑えられます。目頂からつきたいのある外間の支援機関や専門家と一緒にチェックすると、経営者には気がつかないことを確認できる場合があります

				チェック欄	
分類	チェック項目 (経営者によるセルフチェック)	具体的なチェック内容の一例	いいえ	いわ	専門家・ 支援機関に 相談している
	3-1	①自社の知的資産・知的財産の強みが収益面にどの程度関係しているか該当する強みを説明する準備ができ ていますか?			
	「見える化」された知的資産・知的財産と、 現在または将来の事業との関係性を	②保有する知的財産権(特許権・実用新案権・意匠権・商標権)は事業実施に不可欠な資源であるとして 端的に説明ができますか?			
	把握(特定・説明)かできていますか?	③新規ビジネスを成功させるため社内の知恵(知的資産・知的財産)をどう活用するか説明ができますか? また、社内の知恵(知的資産・知的財産)を活用した新規事業への展開に関する準備ができていますか?			
		①自社の技術力・開発力の証として知的財産権(特許権・実用新案権・意匠権・商標権)を引き継げる状態 ですか?			
		②技能を有する人材(個人)はあと何年働くことができるのか把握していますか(例:定年まで○年)			
m		③事業を継続するうえで不可欠な研究・開発体制(部署やチーム等)はどの程度(今後〇年程度)継続できると説明できますか?			
磨き上げ	3 - 2	④事業を継続するうえで不可欠な生産体制(部署やチーム等)・設備はどの程度(今後〇年程度)継続できると説明できますか?			
	承継後も事業を継続、または、新規事業展開するための 知的資産・知的財産は引き継げる状態ですか? (重光端(なき)、のごコールエー・ユーン	⑤事業を継続するうえで不可欠な営業・接客体制(部署やチーム等)はどの程度(今後〇年程度)継続で きると説明できますか?			
	(手楽権物のための「物み」の打握と対応)	⑥事業の実施を継続するうえで不可欠な取引先(仕入先)を確保できていますか? また、事業を継続するう えで不可欠な取引先(仕入先・委託先等)との関係は承継後も円満・順調に続く状態ですか?			
		②事業の実施を継続するうえで不可欠なノウハウ(手順や方法の知識)を引き継げる状態ですか?			
		⑧事業を継続するうえで不可欠な技能(能力、行為等の形式知化が困難なもの)を引き継げる状態ですか? (例:加工に関する技能)			
		③事業を継続するうえで不可欠な技術(記録可能なやり方、方法、手段)を引き継げる状態ですか?			

[×E]

外部専門家や支援機関を交えて検討することが有効です。6ページ参照 【チェック欄の使い方】

[チェックにあたって]

ኛወ 4

- 1. 準備→2. 見える化→3. 磨き上げの順に、自社の知的資産・知的財産の承継について考えでみましょう
 経営者のみでランツサゼド、社内の方と一緒にチェッをしてもらうと漏れが抑えられます。目し切からうきあいのある外和の支援機関や専門家と一緒にチェッケすると経営者には気がつかないことを確認できる場合があります

	!			チェック欄	
分類	チェック項目 (経営者によるセルフチェック)	具体的なチェック内容の一例	いいえ	(14)	専門家・ 支援機関に 相談している
		①知的財産に関する管理・運営に関する方針は定めていますか?			
	3 - 3 現在または将来の事業と、「見える化」された知的資産・	②事業承継に向けて、海外での知的財産権取得・維持管理(周辺特許の出願合む)を実施していますか?			
	知的財産について、適正な維持管理・活用をする取組が できていますか?(自社の「強み」を活かす取組)	③自社の技術力・開発力の証として知的財産権(特許権・実用新案権・意匠権・商標権)を改良できていますか?			
		④自社の知的財産権を事業に活かず、第三者に利用させる、法的リスクを下げるための法務面の準備はできていますか?(例:秘密保持契約、利用許諾、ライセンス契約ほかの法務面の準備)			
3. 翻改上げ	3 – 4 「見える化」「磨き上げ」された知的資産・知的財産の 承継方法を検討できていますか?	①守るべき・承継するべき知的資産・知的財産をどのように引き継ぐのか(どの知的資産・知的財産を、いつ、誰が、誰にどのようにして引き継ぐのか)を決まっていますか?			
		①事業承継に向けて、社内の知恵 (知的資産・知的財産)を強化する方法・しくみ (改善提案等の社内制度など)を整えていますか?また、定期的に更新をしていますか?			
	3 - 5	②事業承継に向けて、社内の知恵(知的資産・知的財産)を強化するしかけ(定期的な社外コンペ(グッド デザイン賞ほか)への参加など)を整えていますか?また、定期的に更新をしていますか?			
	承継を機に、さらなる知財の創出、知財を活かした経営 強化、開発力強化のための仕組み、ルールが構築されて	③従業員に対してデザイン能力の向上させる取組を進めていますか?			
	いますか?	④自社のブランディングに関する取組を進めていますか?			
		⑤従業員の発明促進に資するしくみ (改善提案制度、職務発明規定等)を有していますか?また、定期的に 更新をしていますか?			

[チェック欄 の 使い方]

3. 磨き上げ のチェック項目で、「いいえ」を選択した項目について、 外部専門家や支援機関を交えて整理することが有効です。 経営者がお一人で取り組むことは得策ではありません。 6ページの無料相談窓口を活用を検討ください。

[×E]

